

評議員会報告

最終更新：1997年3月8日

日時・場所：

1997年2月22日・国立天文台三鷹

出席者：

家、池内、今井、岡村、古在、笹尾、佐藤勝彦、杉本、高原、谷口、土佐、長谷川、半田、福井、古屋、松田（議長）、松本、渡部（天体発見賞選考委員長）、渡邊、田中（庶務理事）（出席17名、委任状7名）

議題：

- 平成8年度会務報告および仮決算について
庶務理事（田中）からの報告に基づき議論の結果、承認した。
- 平成9年度事業計画および予算案について
庶務理事（田中）からの報告に基づき議論したが、文部省から要請のあった基本金の300万円増資についての反対動議が古在氏より出され、投票の結果、7：13で否決した。引き続き予算案の裁決を行い、賛成多数で承認した。
- 来期役員について
庶務理事（田中）から理事（15名）、監事（2名）、委員長（11名）の候補者が紹介された。理事長候補として奥田治之氏、副理事長候補として岡村定矩氏、定金晃三氏が承認された。監事候補については、投票の結果、内田豊氏、佐藤修二氏と決定した。
- 林忠四郎賞・論文賞授賞候補者について
林忠四郎賞選考委員長佐藤文隆氏の代理として杉本大一郎氏より選考結果が報告され、以下のように決定した。

林忠四郎賞：

小玉英雄氏、佐々木節氏「宇宙背景放射ゆらぎの理論」

論文賞：

加藤太一氏、カチフ・クンジャヤ氏

"Discovery of a Peculiar SU UMa-Type Dwarf Nova ER Ursae Majoris"

さらに、今回は推薦件数が少なかったため、次回以降、評議員、PASJ編集顧問、PASJ編集委員に推薦を依頼することになった。

- 研究奨励賞授賞候補者について
研究奨励賞選考委員長小山勝二氏が欠席のため（選考結果報告書も理事長には届いていない）、今回の授賞は延期となった。
- 天体発見賞・天体発見功労賞授賞候補者について
天体発見賞選考委員長渡部潤一氏より選考結果が報告され、以下のように候補者が決定した。

天体発見賞：

百武祐司氏

「百武彗星（C/1996 B2）の発見」

青木昌勝氏

「NGC 1084に出現した超新星1996 anの発見」

「NGC 5584に出現した超新星1996 aqの発見」

「NGC 7300に出現した超新星1996 caの発見」

「NGC 3510に出現した超新星1996 cbの発見」

佐々木俊司氏

「NGC 5673に出現した超新星1996 ccの発見」

桜井幸男氏

「いて座新星1996の発見」

申田麗樹氏

「NGC 3631に出現した超新星1996 buの発見」

天体発見功労賞：

高見沢今朝男氏

「NGC 5061に出現した超新星1996 Xの独立発見」

岡崎清美氏

「NGC 673に出現した超新星1996 boの独立発見」

- 天体発見賞の細則案について
天体発見賞選考委員長渡部潤一氏より細則の改定案が再度提出された。議論の結果、委員会の主旨には賛同が得られたが、字句の問題もあり、手続きの項目以外は、今回は現定款通りとすることになった。
- その他：
今井氏より天文月報への年会プログラム掲載の要望が強いとの意見が出された。それに対して、庶務理事（年会実行委員長）田中より、一つの具体案が示された。

なお、上記報告にもあります、年会プログラムの月報掲載（不掲載）については、今期の年会実行委員会としての見解をまとめています。近日中に、来期への引き継ぎ事項として、新旧・月報編集委員会および、新・年会実行委員会に報告します。

[天文学会ホームページに戻る](#)

文責：庶務理事、田中培生